

横断溝の施工手順

今回は、小型横断溝を例に紹介していますが傾斜式横断溝もほぼ同じです。

1、施工方法

1) 床掘

最初に床掘を行います。床掘の深さは、横断溝本体の高さに基礎部の厚さを加えたものとなります。

2) 基礎

- ① 基礎厚は、横断溝の大きさや発注者(打ち合わせが必要)によっても異なりますが、標準は、基礎碎石が100mm、基礎コンクリートが50mmとなっています。
- ② 床掘の幅は、横断溝本体より両側に15cm程度(両側で30cm)ぐらいとします。
- ③ 基礎碎石は、クラッシャーランか再生クラッシャーランの40mm以下のものを使用し、投入量は幅×厚さ×長さ×1.2とし、適切に転圧を行います。
転圧を怠ると横断溝が傾きます。とくに輪荷重のかかるところは十分に行う必要があります。
- ④ 基礎コンクリート使用の場合の幅は、基礎碎石と同じか横断溝の下幅+100mm程度とします。
このとき、基礎型枠を必要とします。使用するコンクリートは、18-8-40が標準です。
基礎コンクリートを十分に養生した後に横断溝を据え付けます。

3) 据付

据付施工は、人力では無理です。

- ① 据付機械は、クレーンかあるいはクレーン付きユンボ等を使用します。
吊金具とワイヤー点検を行う。
- ② クレーンの操作と基礎の上に横断溝が正確に据え付けられるように誘導するための作業員の最低2人が必要です。
- ③ 最初に基礎碎石のうえに敷き砂を製品の底板幅ぐらに厚さ2cm程度敷き詰めならし定規で平らにする
- ④ 横断溝を所定の場所に据付る 微調整は、バールで行う また水平器にて水平度と勾配を確認する。

⑤連結する場合は、1本目と2本目の製品を据え付ける前にジョイントブロックを敷き



スケール等で高さを測定し水平器にて水平を確認する。



⑥1本目の製品側壁端部に1.5cmぐらいの穴にガイドピンを取り付け2本目の製品をそのガイドピン近づけて2本目の穴に取り付けて引き寄せる。



⑦引き寄せプレートをボルトで固定する。



⑧最後の止水板を土手側(飲み口)に取付ます。



注意: 小型横断溝150型200型のジョイントブロックと止水板は、同じ物を使用します。

傾斜式横断溝には、止水板はありません。

ジョイントブロックはサイズ別300用・400用・600用でお渡します。